

実用上極めて重要な問題とも密接な関連があつて興味深いものがあります。
これは不純物のまわりのフォノン分布の変化によるものであろうとねらいをつけているのですが、今後の実験でどういふことになりますか、楽しみです。

川 井 研 究 室

スタッフは川井直人，広丘公夫で、半導体磁性体の高圧下の性質を調べを種々の実験，高圧下のX線回析，高圧下の新物質の合成などの研究を進めています。装置としては次のものがあります。

2000トン・プレス1台，500トン・プレス1台，500トン・プラス磁場発生装置1台，改良ドリツカー型圧力発生容器5台，10万気圧以上，高温は2000°Cまでを目標にしています。

もう一つの研究分野としては、古地球物理学があります。たとえば、岩石磁気のような地磁気の化石量をひろい出し、過去から現在にわたる地球のふるまいを時間軸上に展開して、地球や天体の物理、化学性を探求するのを目的にしています。これらの研究に使用する装置としては、高感度無定位磁力計2台，零磁場発生装置，高温消磁装置などがあります。